

お知らせ



地域公共交通アンケートにご協力ありがとうございました

地域公共交通に関するアンケートにご協力ありがとうございました。アンケート結果は集計・分析し、今後の活動に活用させていただきます

アンケート回答数

実施期間:

2024年12月14日～2025年1月31日

アンケート用紙配布数 2390

総回答者数 502

回収率 21.00%



雲雀丘クリニックが3月末で閉院

雲雀丘クリニックは1930年にこの地に開設された医療施設「山林精常園」本院を前身として始まり、1962年に吉矢氏が内科医院を開設されました。1986年嶋津氏が継承され、1992年に現在の建物に建て替えられ、内科・小児科・泌尿器科と併せて入院もできる地域密着型の医療施設になりました。また、この時期に敷地の一部を市に寄付されて、現在の山手公園が誕生しました。

長年にわたり地域に開かれたエリアドクターとして、気軽に相談でき、住民が安心して暮らせる健康管理全般、また地域の安全面にもご尽力ご貢献いただきましたことに心から感謝いたします。

表紙の写真「莊川桜」

御母衣ダム建設で湖底に沈む運命にあった莊川村の桜の移植にご尽力された高崎達之助氏が雲雀丘にお住まいだったゆかりから、コミュニティ内には『莊川桜』の実生から育てられた二世桜が植えられています。代表的なものは高崎記念館(高崎達之助氏邸)にありますが、その他、2003年(平成15)に雲雀丘山手に27本、2016(平成28)年にコミュニティ内に51本が植樹されています



▲雲雀丘花屋敷駅近くの莊川桜(2016年植樹)



コミュニティひばり
ブログ莊川桜記事

コミュニティひばりへのお問い合わせ・ご意見・ご要望

電話 072-744-2526
FAX

Mail cohibari@outlook.jp

不在ですが折り返し連絡しますので、留守電メッセージにはご連絡先とご氏名をお願いします。

コミュニティセンター、ひばり子ども館が元の場所で活動を再開します

土砂災害対策工事終了に伴い、ひばり子ども館とコミュニティセンターは下記の日程にて元の場所(宝塚市長尾台1丁目1-1)で活動を再開します

コミュニティセンター

- 4/14からコミュニティセンター会議室を運用します
- コピー機など移転前の機器利用は3/21までです
- 『思い出の歌広場』は3月までは長尾台自治会館、4月からはコミュニティセンターにて開催します

ひばり子ども館

- 4/1から元の場所(長尾台1-1-1)に戻り開館します
- 再開準備に伴い3/29(土), 3/31(月)は休館します

宝塚市地域人権教育活動推進員 (長尾台小学校区)を募集します

宝塚市では市民が相互に人権を尊重し、差別のない地域社会を実現するため、宝塚市地域人権教育活動推進員を設置しています。長尾台小学校区の委員を募集します

●応募条件 長尾台小学校区在住で年齢問わず「人権」について知りたい!学びたい!方

●募集人数 3名まで

●活動内容

「長尾台小学校区人権啓発推進委員会」の幹事として参画、企画、運営の活動に協力します。

個人として「人権」関連の研修にご出席いただきます。

●登録 任期 1年(再任あり)

114

No.
長尾台小学校区
まちづくり協議会
コミュニティひばり
長尾台1-1-1
会長 ○〇〇〇
2025年3月1日発行

宝塚市長尾台小学校区のしんぶん

コミュニティひばり



コミュニティひばり
ブログはこちら



表紙写真 高崎記念館の莊川桜(アズマヒガン、2024年4月撮影)

コミュニティの今年度活動報告

コミュニティひばり会長 ○〇〇〇

今年度は、次の3項目を重点とし、各部会・委員会等の事業がほぼ計画通り進捗したことを報告いたします。コミセン周辺の防災工事により、活動拠点として長尾台自治会館を借用できたことに、大変感謝いたします。

①学校応援団に、約37名のボランティア登録がありました。学校の要請には運動会準備、校舎等の掃除、水泳・図工・ミシン・餅つき・外国語・むかし遊びなどの学習補助があり、延べ70日、延べ200人を超えるご協力をいただきました。多くの方から「児童たちから元気をいただきました」と喜びの声がありました。

②「雲雀丘SSのあり方」については、アンケート調査を8月末まで実施し、12月初めにその結果をまとめ、市に提示しました。回答率がわずか6.89%で関心度の低さが気がかりです。

③「これからの地域公共交通システムについて」のアンケート調査を1月末締切りで実施し、現在その集計作業を行っています。

～未来に輝く長尾台の子～

長尾台小学校 校長 ○〇〇〇

一年間を通じて、コミュニティひばりの皆様には多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。地域の皆様の温かいサポートにより、子どもたちは、人とつながる喜びを得ながら成長を遂げることができました。登下校の安全と教育活動全般への応援に、暑い日も寒い日も、子どもたちと一緒に過ごしていただきました。今後も地域と学校が一体となり、子どもたちの成長を支えていけるよう、ご協力ををお願い申し上げます。



▲地域の方々と昔遊び(新聞紙工作)